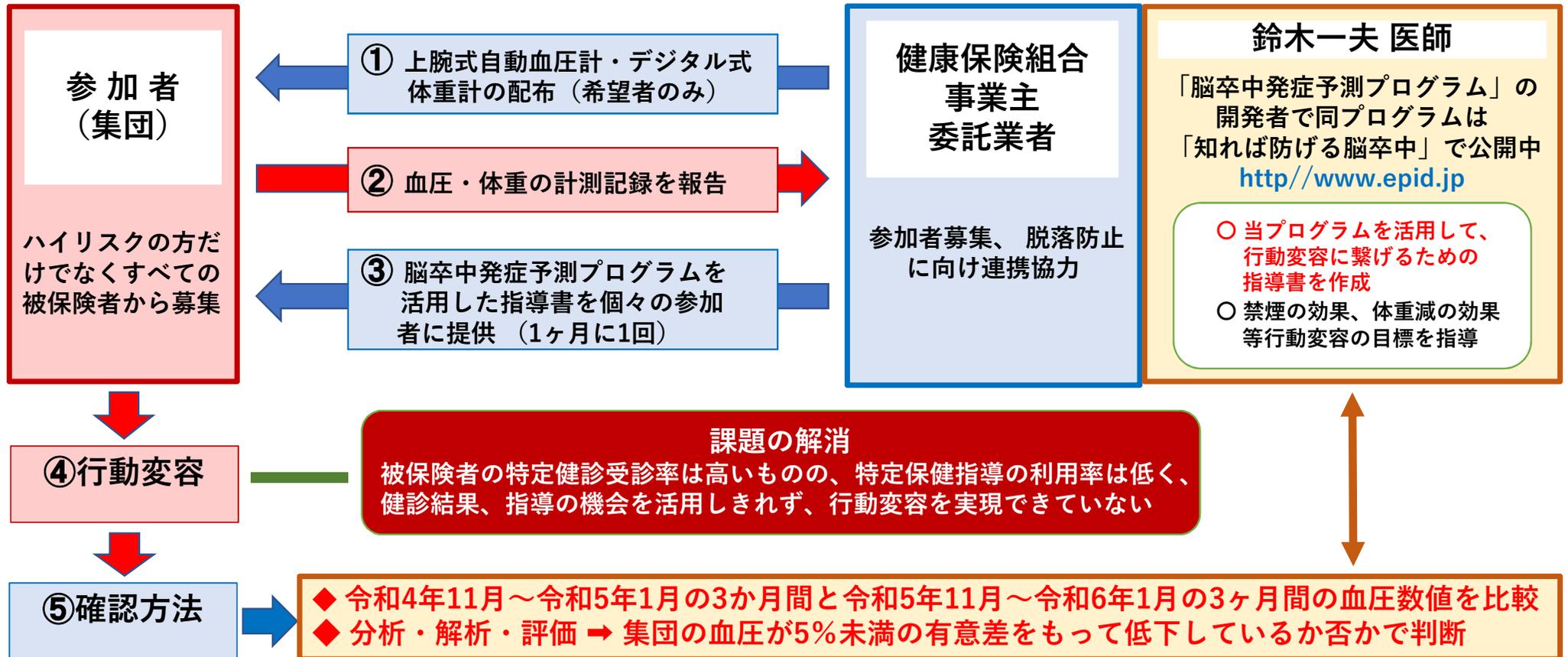


【事業名】 「脳卒中発症予測プログラム」を活用した集団の血圧低下事業

<事業概要(1)>



<事業概要(2)>

事業実施の際の留意事項及び判断指標

事業内容	留意事項・判断基準
1, 参加者募集をハイリスク者だけでなく、全被保険者から募る理由	<ul style="list-style-type: none"> ・「脳卒中」は正常血圧者からも発症するので、健康診断などの予防対策に加え、参加者（集団）全体の血圧を下げる対策が必要であると考えため。
2, 参加者募集時の広報の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・日本人の危険因子別の関連死亡者数を示し、その第1位が「喫煙」、第2位が「高血圧」であること、すなわち早死には上記の要因が大きいことを知ってもらい、健康長寿を実現するために本事業への参加を促す。
3, 血圧低下の比較を、令和4年と令和5年の同時期（11月～3月の3か月）にした理由	<ul style="list-style-type: none"> ・血圧は寒い季節になると高くなるといわれている。 ・令和4年と5年の同時期を比較することにより、季節調整をしない正確な成果を確認するため。
4, 成果指標 1	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者の測定・記録の完走率で「成果1」を判断する。（完走率50%未満の場合は「成果」無しと判断する）
5, 成果指標 2	<ul style="list-style-type: none"> ・1年後の参加者集団の血圧数値が5%未満の有意差をもって、低下したか否かで「成果2」を判断する。
6, インセンティブ	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者個人の事業開始時（令和4年11月）の血圧と事業終了時（令和6年1月）の血圧を比較して、成績優秀者を表彰する。